

大田区の大和魂

医療の立場から
世代をつなぐ未来をつくる

都政十策



やまと

大和ゆきお

無所属

1 毎年赤字が続く東京都立病院と都内大学病院の経営評価と収益改善を行う
※安易に診療報酬や薬価を下げるのではなく、無駄な歳出を減らす行財政改革の実施

2 年少扶養控除を所得制限なしに完全復活させる
・障害児福祉手当・障害児通所支援の所得制限完全撤廃

3 都立保育園・幼稚園・病児保育所の手洗いの温水化を行い、乳幼児の手洗いの促進と教員及び家庭への感染症持ち帰りを軽減

4 5歳児検診が今後本格実施される前に、「発達障害スクリー」とされた子どもや家族のアフターフォローとメンタルケアのフォローを作成

5 コメや医薬品の流通を公的に管理し、首都震災にも対応できるようなDXによる追跡調査及び販路の実態評価を行い、買い占めや転売対策を実施

6 東京都では2025年10月より「無痛分娩の費用助成制度」が開始されるが、完全予定分娩での無痛分娩の際には都が麻酔科標榜医への手当を保証する。その代わり、周期及び分娩後の経過及びサマリイを東京都共通のフォーマットで作成と小児科・児童精神科医が分娩及び周産期の情報をデータにて共有する

7 チルドレンファーストを掲げる東京都において、OTC薬が本当に子どもに安全なものか第三者機関を設置してモニター・共有し、子育て世帯の実質的な費用負担にならないような施策を推進

8 10代の不登校数・自殺者数が増えており都内で都児相や区児相が年々増加しているが、専門職が関与できていない現状から、児相に対する弁護士・児童精神科医・社会福祉士・公認心理師らによる第三者機関の設置を目指す

9 公的施設（区役所・市役所や警察署・消防署）内の空調整備が完備されているか調査し、働きやすく都民が利用しやすい公共施設にする

10 各専門医が多い東京都で公的に全国のへき地医療を支援するオンライン診療団体を創設

【プロフィール】

大和ゆきおは農家出身で、東京大学教育学部で地理歴史科の教員免許状を取得し、幼稚園と高校で教育実習しました。東京都品川区で2年間会社員として勤務し、その後新潟大学医学部に入学。同大学を卒業後、東京大学医学部附属病院で初期臨床研修。同研修中に東日本大震災に遭遇し、後期研修4年間を東北地方に移住して受けました。
その後、埼玉県、横浜市、川崎市の精神科及び児童精神科病棟で勤務経験を積み、平成30年開業医となり、現在は医療法人社団先陣会理事長、池上およびさまクリニック院長として児童精神科医療と赤ひげ診療（何でも当日診る診療）を東京都大田区池上と東京都八王子市高尾で実践。医療経営を収め、全国のオンライン診療も実施中。

精神保健指定医、精神科専門医、子どものこころ専門医